

# 進取で頑固に

～私たちの産業に流れる豊かな精神文化を今こそ再認識し、二極融合の発揮でグローバル価値を創造しよう～

2015年5月  
関西経済同友会  
日本の豊かな精神文化委員会

## 日本の産業・技術を取巻く状況と課題

本格化するグローバル化に試行錯誤  
急激なコモディティ化で競争力低下  
長期にわたる景気低迷  
日本の強みが発揮されていない

### 視点1

## 日本の豊かな精神文化の特質と反映

### 特質は何か

- ◎凝らされる「細やかさ」、極める「勤勉さ」
- ◎他者や社会への「気配り」、森羅万象への「畏敬」
- ◎状況に応じた「こだわり&柔軟性」
- ◎個人力に加え発揮される「チーム力」「総合力」

### 如何に反映されているか

- ◎伝統の匠の技はもちろん、例えば「和食」「旅館」等から「宅急便」「新幹線」「トヨタ」等に至る現代のものづくりやサービスにも反映している

### 視点3

## 伝統と革新をめぐる二極性の融合

### 二極融合による革新

- ◎日本文化における二極性（異質性）の共存
- ◎漢字から仮名を生んだように  
外来文化と在来文化という二極を融合し  
再編成することで伝統と革新が繰り返されてきた

### プロセスにおける二極融合

- ◎革新的創造が行われる過程においても  
「拓くと守る」「開放と閉鎖」「進取と頑固」  
という絶妙な二極融合が発揮されてきた

## 日本文化の根本を見つめ 戦略化する必要性

日本の豊かな精神文化を再検証し  
これを活かした付加価値性の追求

### 視点2

## 匠の技を育み支える精神文化

### 匠の技の“源”への着目

- ◎匠の技に宿る精神文化のみならず  
これを育み支える環境・構造・哲学を見つめる
- ### 日本の伝統的経営哲学の再認識 ※以下は一例
- ◎売り手・買い手・社会の等しい幸福を尊ぶ「三方よし」
  - ◎倫理と利益の両立による経済発展を説く「論語と算盤」
  - ◎目先に捕われず遠きをはかり、適正規模や安定成長を重んじる
  - ◎会社は社員のもの、社員は家族同然という考え方
  - ◎本業を重視し、伝統継承と共に時代に即応した革新を常とする

### 提言1

私たちの産業や技術には  
固有の豊かな精神文化が  
宿っていることを再認識しよう

ものづくりやサービスを「文化」と自覚して  
豊かな付加価値創造を

### 提言2

匠の技を育み支える  
構造や経営哲学から見つめてみよう

「三方よし」や「老舗」に込められた  
持続的成長の知恵を見つめる

### 提言3

「進取で頑固」を合言葉に  
ものづくりやサービスで  
独自のグローバル価値を創造しよう

「拓く」「守る」という二極融合の  
自覚的・戦略的な発揮を